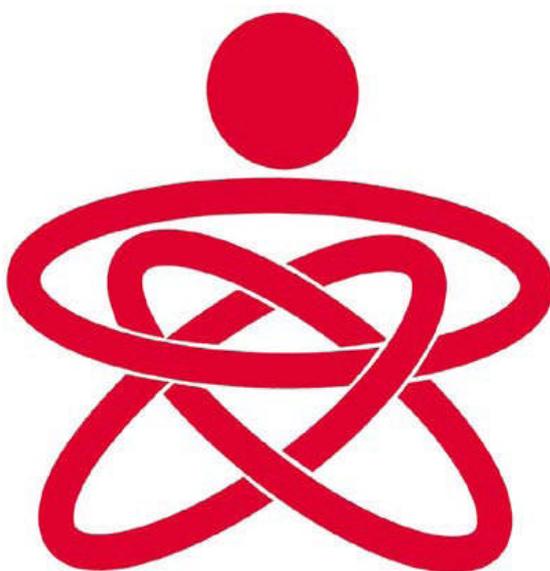


**平成24年度
第2回 ミュージアム・エデュケーター研修
(後半日程)**

テキスト・資料集



主催：文化庁

共催：公益財団法人 東京都歴史文化財団 東京都美術館
公益財団法人 東京都歴史文化財団 東京都江戸東京博物館

日程：前半／平成24年9月26日（水）～28日（金）

後半／平成25年2月7日（木）～8日（金）

会場：前半／東京都美術館 アート・スタディールーム ほか

後半／東京都江戸東京博物館 会議室 ほか

平成25年2月 文化庁

目 次

- p 1～ ⑪課題発表
全体事例発表Ⅰ
全体事例発表Ⅱ
- p 4～ ⑫講義「社会教育と生涯教育」
- p 5～ ⑬講義・グループワーク・ディスカッション 展示室における学び（1）
江戸博の展示室での学びにつながる工夫
講義「東京都江戸東京博物館の展示と教育普及の取り組み」
- p 7～ ⑭講義「ミュージアム・エデュケーションの現場から」
- p 8～ ⑮グループワーク・ディスカッション 展示室における学び（2）
江戸博展示室でのツールの作成
- p 9～ ⑯講義 展示室における学び（3）「博物館における学びのデザイン」
- p 11～ ⑰事例発表 展示室における学び（4）
展示室での学びを深めるツールの事例発表
事例発表Ⅰ
事例発表Ⅱ
- p 13～ ⑱ディスカッション・まとめ

⑪課題発表（7日／10:15～12:00）

中間課題成果発表

進行：企画運営会議委員
新江ノ島水族館展示飼育部専門技監
植 田 育 男

⑪課題発表（7日／10:15～12:00）

中間課題成果発表
全体事例発表 I

発表者：東京都庭園美術館
八 巻 香 澄

進行：企画運営会議委員
新江ノ島水族館展示飼育部専門技監
植 田 育 男

⑪課題発表（7日／10:15～12:00）

中間課題成果発表
全体事例発表Ⅱ「3つの気付きと4つの取り組み」

発表者：泉南市埋蔵文化財センター
河 田 泰 之

進行：企画運営会議委員
新江ノ島水族館展示飼育部専門技監
植 田 育 男

⑫講義 (7日/13:10~14:10)

社会教育と生涯学習

講師：青山学院大学教育人間科学部教授

鈴木 眞 理

- 1 はじめに
- 2 生涯学習と社会教育 [博物館の位置・役割]
- 3 さまざまな学習・さまざまな学習者 [博物館が想定する利用者・学習者]
- 4 生涯学習社会という考え方 [学校教育と博物館][博物館活動の評価]
- 5 教育機関としての博物館の意義 [総合的な存在としての博物館]
- 6 おわりに

[参考文献]

- 鈴木眞理『学ばないこと・学ぶこと-とまれ・生涯学習の・ススメ』学文社 2006年
鈴木眞理『ボランティア活動と集団-生涯学習・社会教育論的探求』学文社 2004年
鈴木眞理(編集代表)『シリーズ 生涯学習社会における社会教育』(全7巻)学文社 2003年
鈴木眞理・永井健夫・梨本雄太郎編『生涯学習の基礎(新版)』学文社 2011年
鈴木眞理・山本珠美・熊谷愼之輔編『社会教育計画の基礎(新版)』学文社 2012年
鈴木眞理・大島まな・清国祐二編『社会教育の核心』全日本社会教育連合会 2010年
鈴木眞理・馬場祐次朗・葉袋秀樹編『生涯学習概論』 樹村房 2013年(近刊)
鈴木眞理編『改訂・博物館概論』 樹村房 2004年

⑬講義・グループワーク・ディスカッション（7日／14:20～16:50）

展示室における学び（1）

東京都江戸東京博物館の展示室での学びにつながる工夫

進行：企画運営会議委員

林原自然科学博物館展示・教育部エディケーター

井 島 真 知

同：企画運営会議委員

ハンズ・オン プランニング代表

染 川 香 澄

⑬講義・グループワーク・ディスカッション（7日／14:20～16:50）

展示室における学び（1）

東京都江戸東京博物館の展示室での学びにつながる工夫

東京都江戸東京博物館の展示と教育普及の取り組み

講師：東京都江戸東京博物館事業企画課展示事業係長
新 田 太 郎

- 1 江戸東京博物館の概要
- 2 常設展示の特徴
- 3 常設展示室内における教育普及活動
- 4 近年における教育普及の取り組み

⑭講義 (7日/17:00~18:00)

ミュージアム・エデュケーションの現場から

講師：国立歴史民俗博物館客員教授
三 木 美 裕

⑮グループワーク・ディスカッション（8日／9:30～12:00）

展示室における学び(2)

東京都江戸東京博物館でのツールの作成

進行：企画運営会議委員

林原自然科学博物館展示・教育部エディタ

井島真知

同：企画運営会議委員

ハンズ・オン プランニング代表

染川香澄

⑩講義 (8日/13:10~14:00)

展示室における学び(3)
博物館における学びのデザイン

講師：東京大学大学院情報学環特任助教
佐藤優香

1) 博物館における経験 …来館者の記憶と期待

来館者は博物館から何を持ち帰るのか

子どものころの博物館体験はどのように記憶されているのか

ワークショップ「記憶の中の博物館」からの考察/記憶されること/館種

による違い/あれこれまじりあった思い出/人との関わり

来館者は博物館に何を期待しているのか

子どもワークシートのアンケートからの考察

親の関わり方/親の期待

展示物をきっかけにして親子でやりとりしてたのしみたい

→記憶に残るのも期待されているのもコミュニケーション

2) さまざまな来館者 …対象にあわせたデザイン

来館者のレイヤー

利用深度は人それぞれ/自分なりに楽しみたい来館者

知っている、一度行く、再訪する、積極的に活用する、企画に入り込む…

→利用者のことをイメージし対象にあったデザインが必要

3) 経験をデザインする …問題を解決するツールのデザイン

ツールは何の役に立つのか

ツールに経験を埋め込む/問題点を掘り起こす

ツールによって解決する誤解と混乱、

→ツールを用意することは来館者の経験をデザインすること

4) プログラムデザインの方法 …デザインの考え方

行為をうながすツールの開発

ひとつのキット利用に用意するさまざまな関わり／行為を誘発する道具／

アイテム間のリンク／関わりの深度／自分との関わりの発見

プログラムデザインの要素

コンセプトメイキング、空間、活動、道具、コミュニティ

活動の4つのフェーズ／

→デザインの要素を整理して考える

→利用の風景を思い浮かべながらデザインしていく

⑰事例発表（8日／14:00～14:35）

展示室における学び（4）

展示室での学びを深めるツールの事例発表

事例発表 I

発表者：広島県立歴史民俗資料館
田邊英男

進行：企画運営会議委員
林原自然科学博物館展示・教育部エディタター
井島真知
同：企画運営会議委員
ハンズ・オン プランニング代表
染川香澄

⑰事例発表（8日／14:00～14:35）

展示室における学び（4）

展示室での学びを深めるツールの事例発表

事例発表Ⅱ

発表者：碧南市藤井達吉現代美術館
鏑本悠子

進行：企画運営会議委員
林原自然科学博物館展示・教育部エドゥケーター
井島真知
同：企画運営会議委員
ハンズ・オン プランニング代表
染川香澄

⑩ディスカッション・まとめ（8日／14:45～15:30）

進行：企画運営会議委員
三重県立博物館館長
布谷知夫